

2022年1月7日

## 京王プラザホテル ニュースリリース

 京王プラザホテル フィーチャー100  
 ～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：若林克昌）は、今年開業 50 周年を迎えました。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードをシリーズでお届けしています。

**■VOL. 85 新しいお客様を惹きつけた、あっと驚くユニークイベント**


「これまでのシティホテルの型を破り、幅広いお客様が集い憩う広場＝プラザでありたい…。」開業時のその想いはホテルが企画する催しにも込められ、今もホテル史に残る数々のユニークなイベントが生まれました。

とくに 1970 年代の開業期から 1980 年代には、あっと驚く演出のイベントが次々と。開業年の 1971 年から始まったお正月宿泊プランの大晦日の「除夜の鐘」は、7 階屋上のプールサイドに鐘楼を組み上げ、お寺からお借りした鐘をお客様についていただくという趣向が好評を博し、その後も数年続く年末恒例の人気イベントになりました。また 1973 年のこどもの日には 47 階の屋上からお客様とともに草花の種をつけた風船を一斉に飛ばし、大きな話題に。

さらに 1982 年のチロルフェアでは、本館 4 階のテラスに長さ 25 メートルのスロープを特設し「特別スキー講座」を開催。ホテルにゲレンデを作り出すという意表を突く仕掛けは、まさにパイオニア精神を発揮する京王プラザホテルならではの試みでした。ほかにも超高層を活かした階段マラソンやスカイプールでのダイビングスクールなど数多くのユニークなイベントは、楽しく親しみやすいホテルという京王プラザホテルのイメージを確立し、新たなお客様を惹きつけてきました。

時代に先駆ける先進的な企画から楽しさあふれる海外文化の紹介、息長く継続してきた日本の伝統文化発信まで、いつの時代もお客様の笑顔と感動が生まれたホテルイベント。プラザ思想を根底に据えたその系譜は、現在も変わることなく受け継がれています。

本件に関するお問合せ先：株式会社京王プラザホテル

営業戦略室 企画広報 杉浦 陽子・小田 力・川嶋 慶子・波多野 千恵子

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479

[www.keioplaza.co.jp](http://www.keioplaza.co.jp)

